

組織名	花西地区まちづくり協議会
事業名	雪あかり実行委員会支援事業
新規・継続	継続(事業開始:令和4年度)
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で約3年間町内行事が行われなかったことで、「行事をやらなくてもいいのでは？」という空気が生まれていた。役員も変わってやり方が分からない状態。 ・地域への関心の低さ。親が感心を持たなければ子どもも感心を持たない。 <p>【事業のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けのイベントをやれば自ずと親や祖父母も参加するのでは？ ・雪あかりに使用するペットボトルランタン作りは行事(子ども会や世代交流)の一つになる。 ・参加型のイベントにすること(自作のランタンを自分で飾り付けたり、バケツとスコップでかまくらを作ってLEDライトを入れる作業してもらう) <ul style="list-style-type: none"> →見て終わりというリワクワク感と達成感を味わえると思う。 ・町内会合同のイベントだが、各町内会でも開催してもらえるのでは？ イメージがしやすい <p>※LEDライトは当協議会で保管、貸出可能としている。</p>
実施形態	花西地区まちづくり協議会
実施主体	雪あかり実行委員会 サポート:総務企画部会

事業概要

- ・R3年度花西未来塾テーマ「花西地区でやってみたい企画」で35個の企画案が出る。
- ・R4年度花西未来塾テーマ「企画を実際にやってみよう！」で三つ(花西地区運動会、ゴミ拾いと芋煮会、雪あかり)の案と企画内容(開催目的や開催時期、場所、必要なもの、参加対象者など)を発表し後、投票で「雪あかり」に決定した。決定理由は気軽に行ける冬のイベントがないし、ぎんどろ公園があるから。
- ・事業費
 - ・雪あかり用LEDライト 約10万円 (第1回目の時に購入)
 - ・ペットボトルランタン作り材料費 約10万円
 - ・会議費 約2万円
- ・未来塾参加者は小中PTA中心の町内役員約24名



雪あかり実行員会支援事業(R4年度)

(花西地区まちづくり協議会)

・ランタン作りは各町内会(子ども会の行事や三世代交流として)、当協議会で開催しました。



雪あかり実行員会支援事業(R4年度)

(花西地区まちづくり協議会)

- ・前日会場作り、当日自作ランタンとバケツ、スコップを持参して、参加者たちで飾り付けを行う。

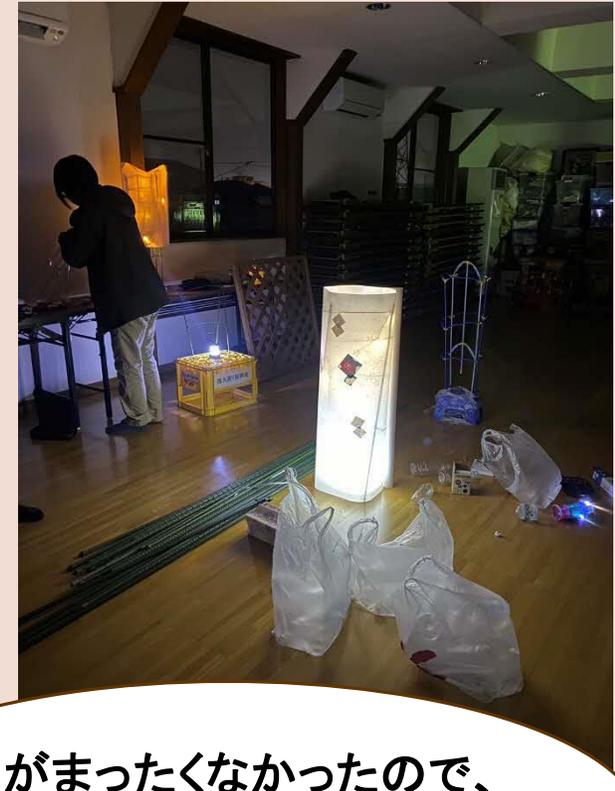


お父さんたちが作った雪像が
撮影スポットに！

雪あかり実行員会支援事業(R5年度)

(花西地区まちづくり協議会)

R5年度雪あかり 1月21日開催 費用:ランタン作り材料費 約15万円 会議費 約2万円
・12月~1月上旬 会議を3回ほど行う 学童へランタン作りを依頼。



学童にランタン
作りを依頼

雪がまったくなかったので、
園芸用品を活用して
吊るし台を作成

雪あかり実行員会支援事業(R5年度)

(花西地区まちづくり協議会)



雪あかり実行員会支援事業(R5年度)

(花西地区まちづくり協議会)

- ・20日、21日文化会館で開催された「芸術体験フェスタ」に合わせて「冬のぎんどう日和」を開催。
文化会館のエントランスでランタン作り(参加無料)を開催。



雪あかり実行員会支援事業(R5年度)

(花西地区まちづくり協議会)



来場者約300人
ランタン500個以上



雪あかり実行員会支援事業(R5年度)

(花西地区まちづくり協議会)

事業概要

- ・R5年度雪あかり 1月21日開催
- ・費用:ランタン作り材料費 約15万円 会議費 約2万円
- ・12月～1月上旬 会議を3回ほど行う
- ・今年は雪がなかったので園芸用品を使って吊るし台を作成。
- ・各町内会でのランタン作成の他に、学童クラブに作成を依頼。
- ・1月20日、21日文化会館で開催された「芸術体験フェスタ」に合わせて「冬のぎんどう日和」を開催。
文化会館のエントランスでランタン作り(参加無料)を開催。



工夫や留意した事項

- ・町内会の子ども会や世代交流会としてランタンを作ってもらう
- ・学童にランタン作りを依頼。
- ・参加型のイベント(自作のランタンは自分で飾り付ける)



事業効果や反省点

- ・文化会館のイベントに合わせて開催したことで、去年に比べて集客数が上がった。
 - ・町内にある公園にランタンを飾る町内会もあった。
- 【反省点】
- ・開催告知をもっと大体的にすれば良かった。
 - ・実行委員会のメンバー(現在十名)が少ないので、もっと声掛けが必要だと感じた。中学生や高校生にも参加してもらおう。

